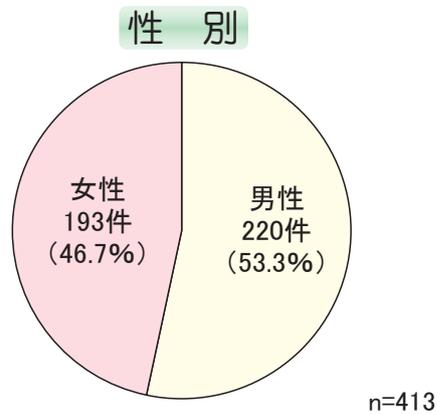


第3章

脳卒中と診断された患者

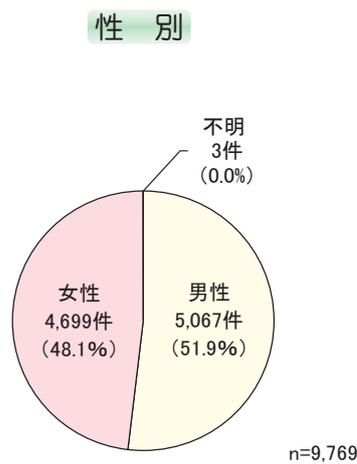
1 性別、年代

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件の男女比は、男性53.3%（220件）、女性46.7%（193件）であった。



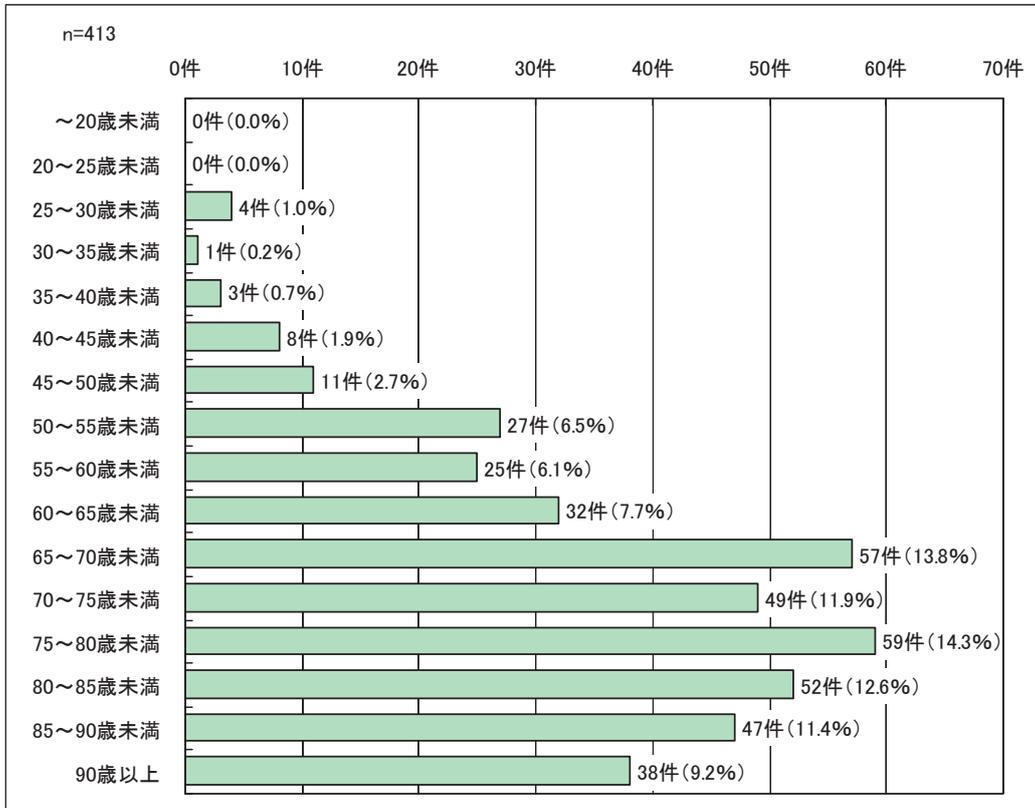
参 考

医療機関による確定診断で、脳卒中ではないとされた件数は9,769件で、その男女比は、男性51.9%（5,067件）、女性48.1%（4,699件）であった。



医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件を年代別にみると、全体に占める50歳未満の割合は6.5%（27件）にとどまっている。50歳代から割合が高くなり、75～80歳未満が14.3%（59件）で最も高くなっている。

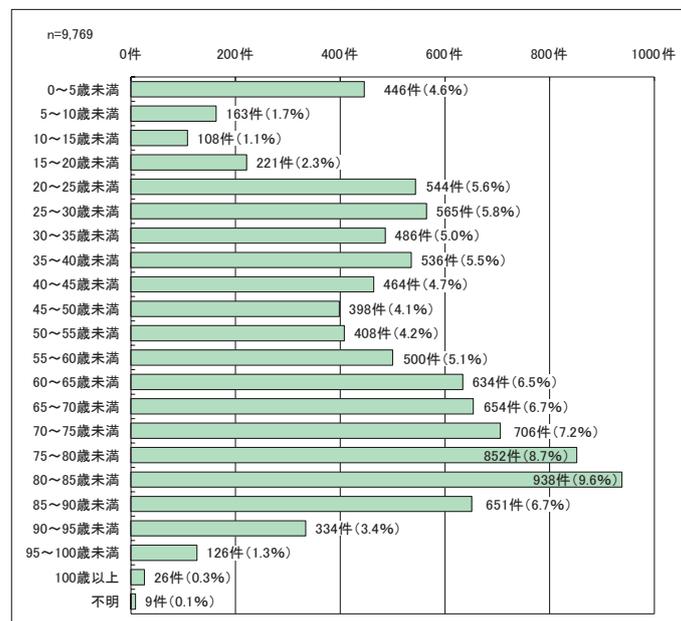
年代



参考

救急隊による判断及び医療機関による確定診断で、脳卒中ではないとされた9,769件では、80歳代の割合が16.3%（1,589件）で最も高くなっている。

年代



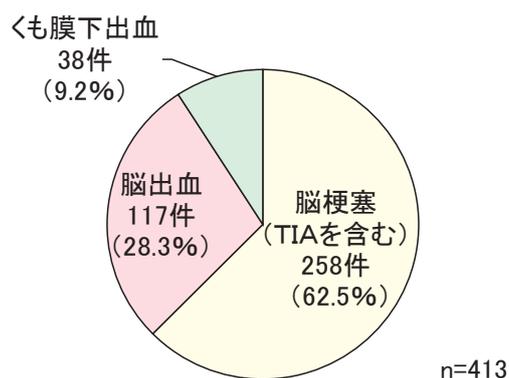
2 疾病別の割合

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件について、脳卒中の疾病別の割合をみると、「脳梗塞（TIA^{*}を含む）」62.5%（258件）、「脳出血」28.3%（117件）、「くも膜下出血」9.2%（38件）であった。

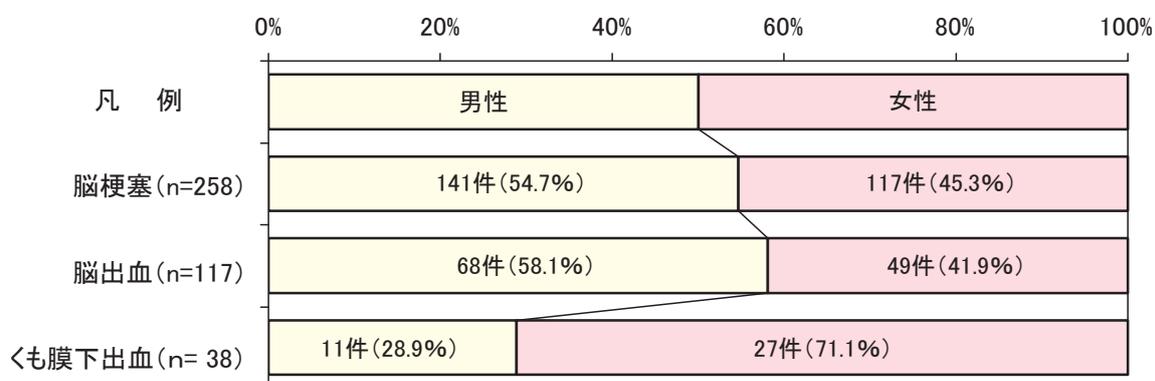
疾病別の男女比は、「脳梗塞（TIAを含む）」では男性54.7%（141件）、女性45.3%（117件）、「脳出血」では男性58.1%（68件）、女性41.9%（49件）、「くも膜下出血」では男性28.9%（11件）、女性71.1%（27件）、となっており、「脳梗塞（TIAを含む）」と「脳出血」では、男性が女性より割合が高く、「くも膜下出血」では女性が男性より高い割合となっている。

※ TIA…一過性脳虚血発作

疾病別の割合



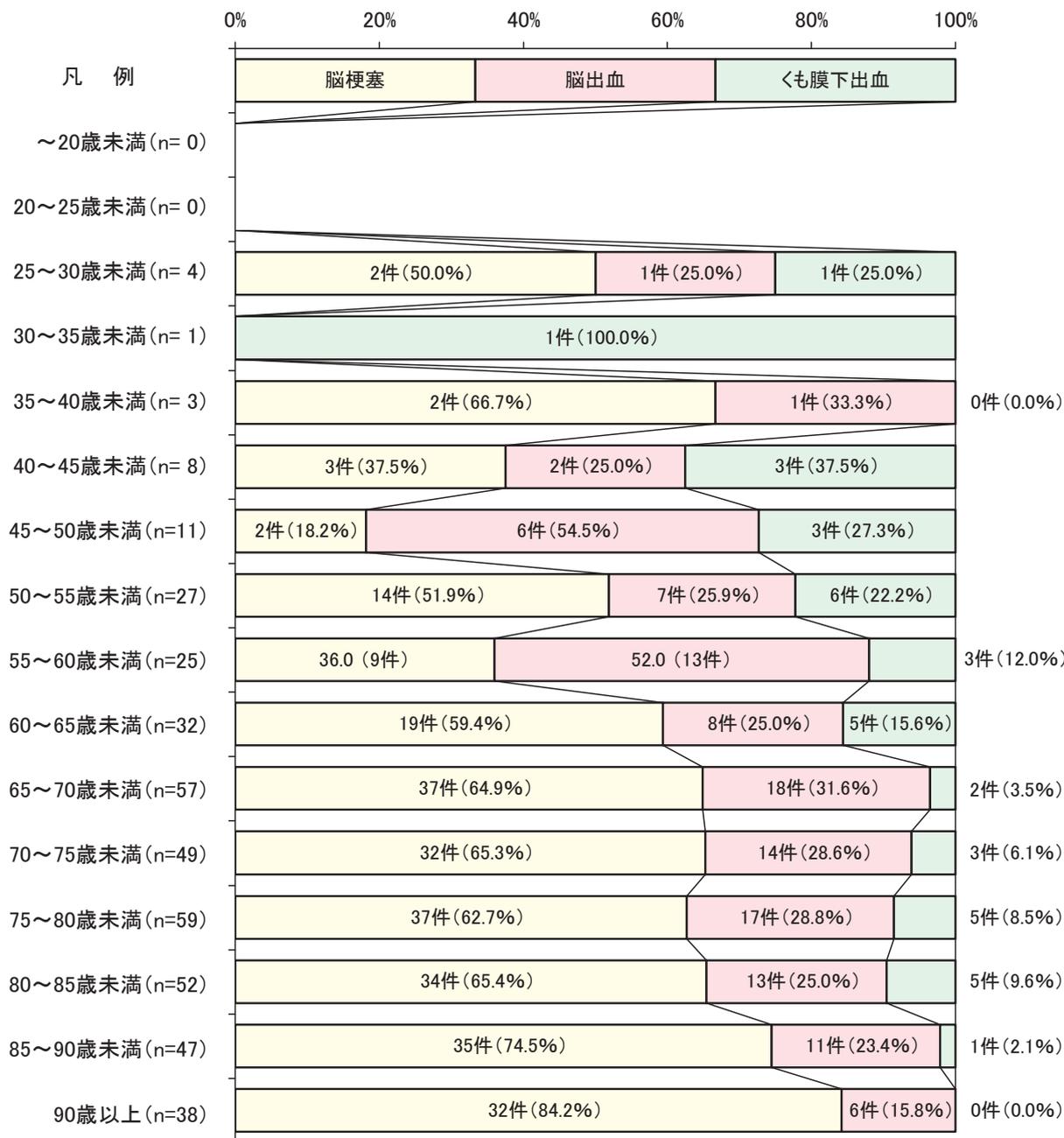
性別—疾病別



医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件について、年代別で見ると、60歳代以上では年代が高くなると、「脳梗塞（TIAを含む）」の割合が高くなっている。その割合は90歳以上で最も高くなり、84.2%（32件）となっている。

60歳以上の「脳出血」と「くも膜下出血」の割合は60歳未満より低く、「くも膜下出血」では、各年代いずれもおおむね1割未満となっている。

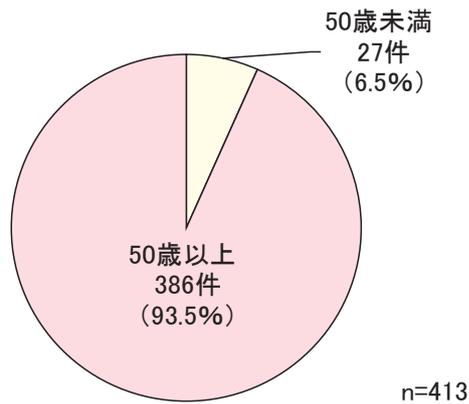
年代—疾病別



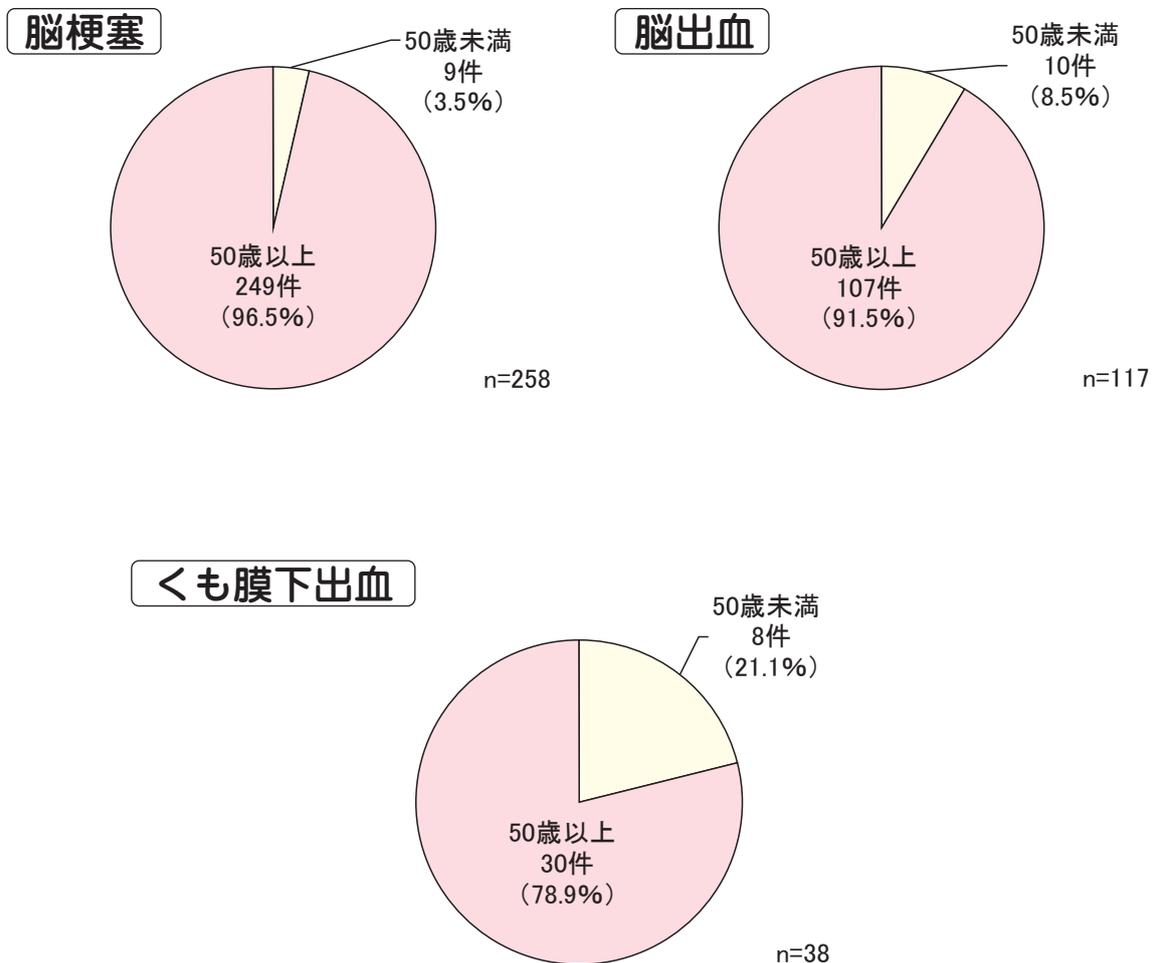
医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件について、年代を50歳未満と50歳以上に大きく分けてみると、全体に占める50歳以上の割合は93.5%（386件）、50歳未満の割合は6.5%（27件）となっている。

疾病別でみると、50歳以上の割合は「脳梗塞（TIAを含む）」で96.5%（249件）、「脳出血」で91.5%（107件）、「くも膜下出血」で78.9%（30件）となっている。

50歳以上と50歳未満の割合 脳卒中全体



50歳以上と50歳未満の割合 疾病別



3 既往症

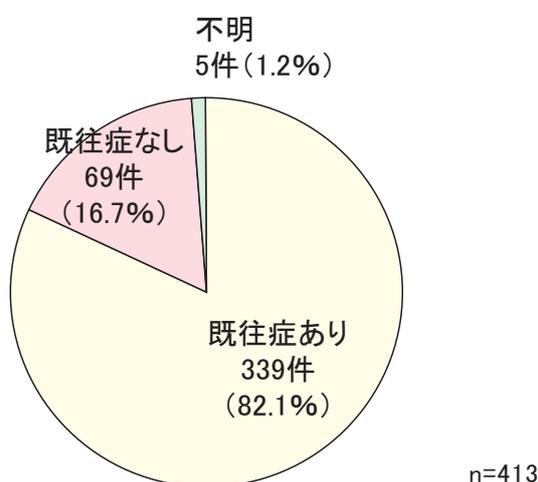
(1) 既往症の有無

医療機関による確定診断で脳卒中と診断された413件について、既往症の有無をみると、339件(82.1%)に既往症があった。

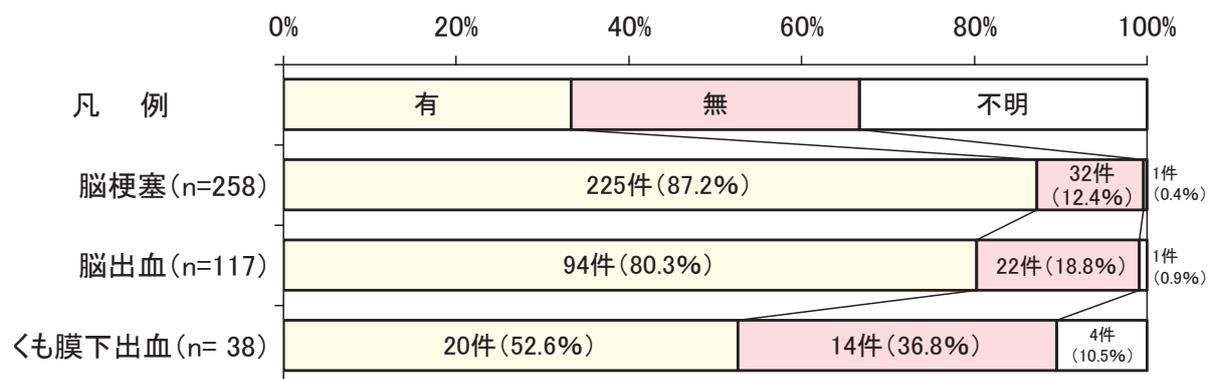
これを疾病別にみると、既往症があった割合は、脳梗塞の87.2%(225件)、脳出血の80.3%(94件)で、いずれも8割を超えている。

一方、くも膜下出血では既往症があった割合は52.6%(20件)となっており、脳梗塞と脳出血に比べて、やや割合が低いといえる。

既往症の有無－脳卒中全体



既往症の有無－疾病別



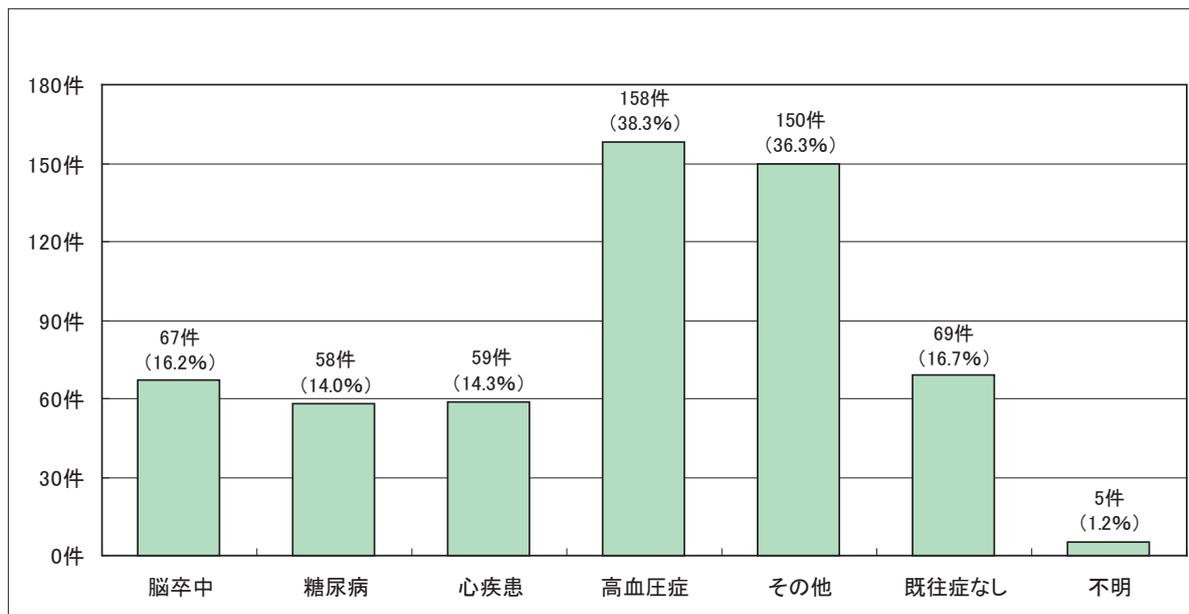
(2) 既往症の内容

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断された413件について、既往症の内容についてみると、複数の既往症があるケースが多くみられた。

その内容は、「高血圧症」が158件（38.8%）で最も多く、「心疾患」59件（14.3%）、「糖尿病」58件（14.0%）と続く。

「脳卒中」については67件（16.2%）であった。

既往症の内容－脳卒中全体



※既往症の内容は複数回答

※「脳卒中」は「その他」の回答を整理して把握

「脳卒中」と分類した67件の内訳については、「脳梗塞」54件、「脳出血」10件などであり、脳梗塞258件のうち、43件（16.7%）に脳梗塞の既往がみられた。

既往症の「脳卒中」の内容

(上段：件数 下段：%)

	既往症の内訳						計
	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	脳出血 くも膜下出血	不明		
脳梗塞	258	43	6	1	1	0	51
	100.0	16.7	2.3	0.4	0.4	0.0	19.8
脳出血	117	9	4	0	0	1	14
	100.0	7.7	3.4	0.0	0.0	0.9	12.0
くも膜下出血	38	2	0	0	0	0	2
	100.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
脳卒中全体	413	54	10	1	1	1	67
	100.0	13.1	2.4	0.2	0.2	0.2	16.2

「その他」（150件）の内容は、「悪性新生物」25件、「認知症」13件、「呼吸器疾患」12件、「腎不全」10件、「消化管疾患」9件、「精神性疾患」8件などとなっている。

既往症の「その他」の内容

その他内訳	件数
悪性新生物	25
認知症	13
呼吸器疾患	12
腎不全	10
消化管疾患	9
精神性疾患	8
肝胆道疾患	7
骨筋肉疾患	7
前立腺肥大	7
パーキンソン病	6
眼疾患	6
婦人科疾患	5
膠原病	5
脂質異常症	4
痛風	3
脳卒中以外の脳疾患	2
結核	2
甲状腺疾患	2
尿路結石	2
皮膚疾患	2
その他	13
計	150

また、既往症の内容を疾病別でみると、脳梗塞では、「高血圧症」106件（41.1%）、「脳卒中」51件（19.8%）、「心疾患」51件（19.8%）、「糖尿病」45件（17.4%）となっている。

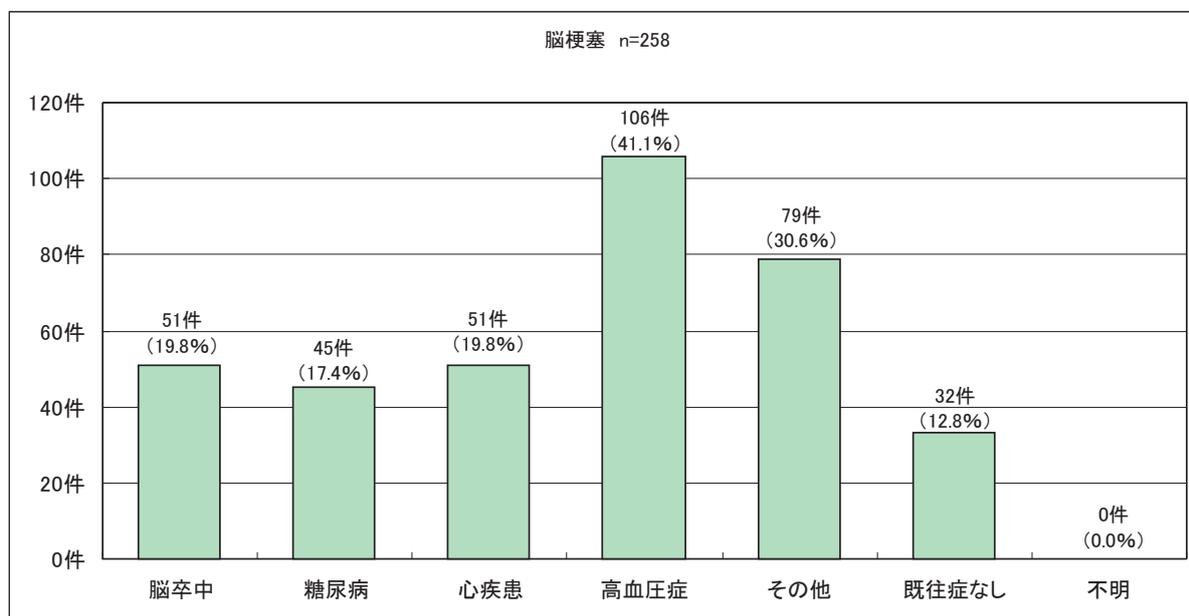
脳出血では、「高血圧症」45件（38.5%）、「脳卒中」14件（12.0%）、「糖尿病」12件（10.3%）、「心疾患」8件（6.8%）となっている。

くも膜下出血では、既往症がないケースが14件（36.8%）と多かったが、既往症としては、「高血圧症」7件（18.4%）、「脳卒中」2件（5.3%）、「糖尿病」1件（2.6%）となっている。

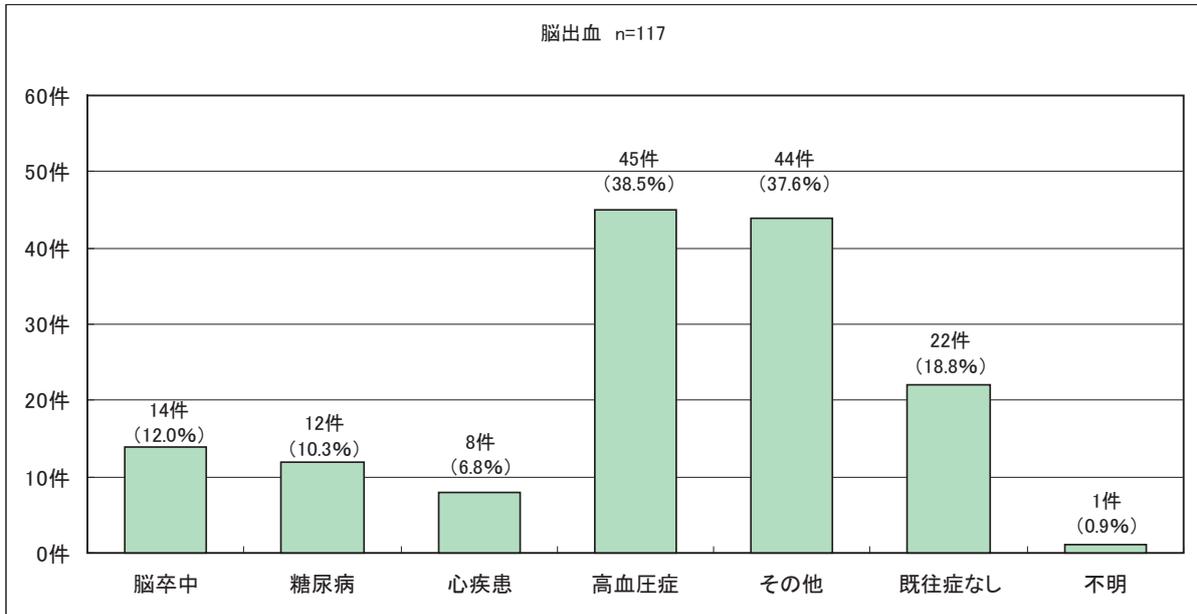
既往症の内容は、脳梗塞と脳出血では「高血圧症」の割合が高くなっている。

既往症の内容－疾病別

脳梗塞



脳出血



くも膜下出血

